

あだたら

第437号
発行所
郡山市喜久田町
あだたら山の会
編集部

四月二十九日 (火)

第六十八回定期総会

報告 編集部



総会、会計監査報告、議長は会長

第六十八回の定期総会は、四月二十九日(火)、本町「アーバンホテル二本松」で開催された。

総会では、執行部提案の昨年の行事報告・会計報告、今年度山行計画・予算が承認された。今年役員改選



新役員

時期、これも執行部提案通りに承認された。

今年、会創立六十八周年にあたり、七月に北海道

●編集部連絡先

FAX可・渡辺

「利尻・礼文」への山行が行われる。毎月月例山行・平日山行・登山道整備が予定されている。

総会終了後、山岳懇談会が行われた。来賓の二本松市長三保恵一・二本松スポーツ協会会長杉内貞夫の各氏から御挨拶を戴いた。



乾杯



ご来賓・スポーツ協会長様



ご来賓、市長様

四月二十三日 (水)

湯川溪谷登山道下見

報告 (LINEから) 椎原

日の朝にメンバー見て決めます。背負い子などの使う

物はすでに阿部さん宅から持ち出して鈴木さんに当日持ってきてもらいます。あと、多少荷運びありますので皆さんお願いします。

青木さん、鈴木さんとして塩沢下見に行ってきた。やはり例年より雪が多く、屏風トラバース手前で引き返してきました。二十七日は天気が良く、参加者も多いので複数箇所で作業しますが恐らく橋の設置までは出来ないです。急遽、二十九日に作業実施しますので参加できる方はお願いします。

作業内容として

- ①八メートルくらい登山道が崩落仕掛ける箇所土に土嚢設置。
- ②屏風トラバース手前で幅三メートルくらいの崖崩れあり。アンカーボルト設置と仮ロープ設置。
- ③倒木多数あるので切断、撤去。大きな倒木箇所は切断して迂回路作成。
- ④くろがね小屋まで状況偵察。上記四班に別れる予定です。

持ってる方は下記を持参して下さい「無い人は会装備あります」ヘルメット、スリッポン「ハーネス」、剣先スコップ。屏風トラバースは足場板が全て流されてますので作業する場合はロープ張りします。それ以外にも複数箇所ロープ設置が必要かと思ひます。危険箇所通過が不安な方は①の作業をお願いします。詳細は当



4月27日 (日)、湯川溪谷登山道整備参加者、朝の集合

四月二十七日(日)

湯川溪谷登山道整備

報告 編集部

①班

①班の作業は湯川溪谷沿いの登山道で、大きな亀裂ができ、登山道が崩落しそう

になっていた場所の整備。杭を打って、土留め板を置き、土嚢袋並べるといふ、まさに職人はだしの作業が行われた。作業した会員もその出来映えにびっくりしていた。



「雪の回廊」の上、作業完了



「雪の回廊の上」、作業前



屏風岩下、作業完了



屏風岩下、作業前

②班

②班の作業は、主に倒木の整理、チェーンソー担当は立花さん。丸札⑩番の三階滝分岐の手前、⑪番と⑫番の間にある巨大な倒木、昨年迄は根元に近い方の隙間まで登って潜って通過していた。今回確認すると、大雪のせいか、以前は通れた隙間、更に狭くなってしまっていて、通過に支障がある。そこで、倒木で塞がれてしまっていた、元の登山道を通れるように、倒木の一部分を伐採する事とした。根元を上にして倒れている巨大な倒木の、先の部分は崖壁に突き刺さっている。その部分はそのままにして、浮いている部分を切る、危険が伴う。立花さんは、崖の上の根元まで上がって、根元の状況確認していた。伐採作業の結果、伐採された倒木の先は崖壁に刺さったままで、その下に杭を打って、土嚢袋を置いて、登山道が作られた。(根元の部分が落ちて来るまでは)、通れる道ができた。今後とも通過時には状況、充分確認するようしたい。



根元調べたのは立花さんが初めて



⑩伐採は完了、後は道造り



⑫伐採中



⑪作業前、巨大な倒木



⑬完成、倒木潜らなくて良い



⑭土嚢袋置いて



⑮杭打って土台造り

③班

報告・室井

【第③班参加者】椎原会長、鈴木副会長、松井副会長、田島さん(くろがね小屋管理者)、そして室井。

塩沢登山口八時集合。二十五名の参加者を三班にわけました。第③班は崩落した登山道整備に必要な安全を確保する為のロープ設置を担当します。各班に必要な道具等を振り分け八時四十分出発。屏風岩から少し山頂寄りの所に当会が設置した鎖が雪に埋もれ、切れていました。切れた鎖の連結を試みましたが、雪で鎖が変形しており連結出来ません。針金を使った簡易的な連結となりました。

写真①の上が正常なリング、下が変形したリング。鎖が変形して危険な状態です。新たに七mと四mの鎖が必要となります。その少し先に完全に崩落した



屏風向の崩壊全景、丸印は会員



写真②

登山道があり通行不能です。作業の安全を確保するフックスロープを張る作業にとりかかります。鈴木副会長が急斜面をスルスル登り支点を作ります(写真②)。



写真①



写真⑤



写真④

作業安全が確保されたので(写真③)、登山道にロープを張る作業にうつります。アンカーを打つ硬い石を見極める為ハンマーで石を叩き確かめます。ハンマードリルで石に穴をあけ固定材のケミカルを入れます(写真④)。



写真③

二十分後薬剤が硬化してからアンカー設置をして完了となります(写真⑤)。



写真⑥

十四mのロープが張られました(写真⑥)。



写真⑦

そのロープを手掛かりに第二班が杭と倒れた木を使い登山道を作りました(写真⑦)。

十五時十分に作業終了し下山開始となりました。雪の多さがここまで登山道に影響するとは思っていませんでした。様々な道具やロープワークを駆使した作業に参加させて頂き貴重な経験でした。有難う御座いました。皆様お疲れさまでした。



強風で安全祈願祭は奥岳



小屋近くの携帯トイレブース



山開きには、ハムクラブ



五月十八日(日) 写真「三」から
第七十一回安達太良山開き
今年の山開きは異例だった。湯川溪谷登山道が登山道崩壊等で利用できず閉鎖で、五組のパトロールを出す予定だったが、奥岳発のた。当日朝は強風でロープウェイ運行停止、ロープウェイ利用のパトロール隊は五葉松平経由で山頂へ向かった。



5月11日、会長設置



恒例 テラス整列 15時3分

A1コース

薬師岳から山頂往復

鈴木

Aコース、会長、渡辺、事務局除く七名で強風でロープウェイが止まってしまったので五葉松平登山道を上るため八時半に出発。五葉松平に向かう途中でロープウェイが運行して、会長はそれで登るという連絡あり。途中警察消防と合流し頂上に十一時半到着。B1コースの学さんチームと合流し、山頂直下の風の当たらない場所ですみやかに昼食。十四時三十分、スキー場に戻る。

A2コース

薬師岳から山頂往復

松崎

八時集合。山開きだから混むと思い早めの七時半頃に着く。駐車場に車が少ないことに驚き、日にちを間違えたかと思った。皆さんと合流して打ち合わせ後三グループに分かれて出発。私たちはゴンドラ経由山頂なので、強風のため運転見合わせ中のゴンドラの様子を見ながら三十分待機。動く気配がないので八時半出発。馬車道ではなくあたたらスキー場ゲレンデ側から五葉松平へ。薬師までの登りは足元が泥んこでした。ここは下りたくないと思

いながら登る。薬師岳の下あたりで雪解け水の小さな滝を見つめるもスマホでは撮れなくて残念。十時十五分「ほんとうの空の碑」の横でなすびさんが登山者の方たちと握手していた。いつも通り丁寧に応対してくださっていた。山頂を目指し再開。十二時には下山するので時計を睨みつつ足を進める。すれ違う登山者の方から、先に大きく雪の残っている所がすくずく滑るから危ないですよと教えていただく。確かに危ないし滑る。雪の上を登山靴をさすようにしてゆっくりと歩き通過した。少しガスのかかった山頂が見えてきたがまだ着かない。予定の十二時を過ぎたころ、山頂から同じグループの方たちが下りてくるのが見えて足を止め合流する。風に当たらないところで昼食を食べ、全員で下山。途中にまた雪原、雪解け水の川、泥んこ道を通りゴンドラ山頂駅へ。あまり景色も見えなかったけど、時々見える景色はキレイでした。十四時五分木道のわきにはショウジョウバカマ、水芭蕉が咲いていて、私が見た水芭蕉の中ではとてもかわいいサイズでした。登山靴の泥を落としゴンドラに乗り。下に降りるとほかのグループの方々はまだ戻って来ず、少し待って皆さんが戻ったところで恒例の記念撮影十四時三十六分頃。久しぶりに五葉松平を登るとなった時に

B1コース

くろがね小屋経由

安斎

前日の大雨の次の日は、天気は、晴れだが、台風のような爆風で、ゴンドラは、動かず！ペナントは、奥岳で配布に変更。安全祈願も行われた。私達はB1コース(くろがね小屋経由コース)。私は、記録係&先頭と言う大役を仰せつかり(いつもは、シンガリで、ふらふら行くスタイル)八時十分スタート！警察のマスケットに、見送られ！。なかなかのプレッシャーの中、登山&パトロール開始。簡易トイレの無事を確認して、解体前のくろがね小屋をながめて、いざ山頂を目指す！残雪多くて、山道もわかりづらいし、スパイク履こうか？迷いましたが、つぼ足で！沼の平は、爆風

とガスで、あの素晴らしい景色は、お預け！。天候不順で、山頂イベントは、中止の中、いざ山頂目指す！一月の冬山パトロールから、四ヶ月ぶりの山頂！に感激？。ゴンドラが、動きまますように、願いながら風の少ない所で、ランチタイム！、やっぱり、山でみんな食べるランチは、サイコーに美味しい。下山途中の雪渓は、みなさんが、ギブアップした、ポイント！踏ん張って、無事通過。予想は、してましたが、雪解け水で、川になってる山道が、歩きにくいと、感じました。ただ、午後から、ほんとの空が、きれいにおがめて、サイコーでした！十四時半には、ゴンドラにのりこめて、ラッキーでした。終始、いろんな事が、ありました。アグシデン！、怪我なくてよかったです！反省会も、盛り上がり、最高でした。

B2コース

麓山下経由

室井

【参加者佐藤 さん、菅原 さん、長澤 さん、佐藤 さん、そして室井。奥岳登山口八時集合。二十四名の参加者を四班に分けました。B2コース班は奥岳へ登至平ヶ峰の辻く山頂へ薬師と奥岳(帰路はロープウェイ使用)パトロールの予定。風が強くゴンドラ運休しています。悪天候予報の影響で登山者も少ないです。ゴンドラ休止により安全登山祈願祭はレストラン・ランデブーで執り行われました。ほんとの空大声コンテスタは中止となりました。福島県警、詐欺被害防止広報用マスケットの「カクニジャー福くん」に見送られ、八時十分出発しました。予想以上に蒸し暑く、八時三十分、鳥川で衣服調整。九時三十分、八ノ字頭分岐で小休憩。相変わらずの悪路に苦戦しながら峰の辻に到着しました。風が強くゴンドラ再開は期待できないと判断。山頂にはB1コース班も向かいますので、私達は山頂には向かわず、くろがね小屋経由で下山しパトロールを継続することにしました。十一時四十分、峰の辻を出発。十二時三十分、くろがね小屋で昼食をとりました。十三時三十分、くろがね小屋近くの簡易トイレを固定するアンカーが外れていたので固定しました。伐採も行いながら奥岳に向かいました。チーフリーダーの長澤さんは、適時登山者に声を掛け、登山者の体調などを気にかけている様子でした。ふらつきながら下山していた男性にも声を掛けました。しっかりと返答が返ってきたので私達は安堵し下山しました。山頂には行きませんでしたので、一番早く奥岳に到着し他の班の方々をお迎えする予定でしたが、何と一番最後の到着。ゴンドラが再開され、他の班の方々は、予定通りゴンドラ使用で下山したようです。一番乗りの夢が絶たれた疲労感が急激に増加しました。最後に恒例の記念撮影後解散となりました。今回の山開きでは、怪我人はいなかったようです。今後も安全登山に努めたいと思っております。懇親会も楽しく参加させて頂き有難う御座いました。



懇親会、利尻打合せ



懇親会

二月十五日(土) 晴

個人山行・目山山行

報告・菅野



日山、田沢登山口



日山山頂

立春も過ぎた二月四日から降り出した雪が大雪となり、連日の雪かたし。雪国では交通マヒ、落雪で死亡事故などあり何年ぶりかの大雪で、会津の人達の大変さを知った。大雪のピークも過ぎた二月十五日何時もより十五分程遅れて来た車で妻を送り出し、私は日山へ出発する。国道四十九号を日山登山口の田沢へ。途中福寿草の花なども見る事が出来た。田沢より脇道に入るとほぼ雪道、旧登山口の駐車場は除雪され三台ほど駐車していた。十時二十五分出発、今回は上の登山口からと車道歩き、十時五十分アイゼンを着け入山する。私より少し遅れて来た男性は出発していった。先日の一人の足跡と私と三人だけ。雪は十五センチ位はあると思う。東小屋十一時三十分、昼食をして十二時出発。今日は一時山頂と決める、休み休み登る。稜線に上がって安心。だが雪が三十センチある。一時山頂の見晴櫓が目に入る。深い所では四十センチあるだろう。時々足が入り進むのが大変。山頂広場も二十センチ位はある。駐車場・登山口で会った二人は眺望を楽しんでいた。一時三十分下山、少し早く出た二人はいない。途中四人の登りの登山者と会う。二時三十分無事駐車場へ下山することができた。

二月二十二日(土) 晴

個人山行・羽山山行

報告・菅野

ディサービスに妻を送り、天気も良いので羽山の山は低い、雪も少なくなっているだろう。アイゼン

三月一日(土) 晴

個人山行・安達太良(勢至平)

報告・菅野

毎週土曜日が妻のディサービスの日、今日も八時頃に送り出す。スノーシューで昼食のパンを買い奥岳駐車場へ。風もなく良い天気。駐車場も七七八割位入っている。入山届を出しアイゼンを付け十時四十分入山する。私の九十センチのストックが頭まで挿しても届かない。雪道。十一時八分鳥川橋、遊歩道の案内板は字だけ出



羽山山頂

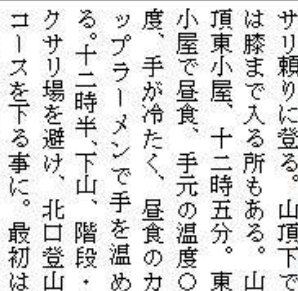


羽山、南口入口

だけ持ち、十時十分入山する、長い林道歩き、十時十五分位歩いても雪が少ないう。山の西側になると雪がある。十時十五分と深くなる。二三日前登ったと思われる二三人の足跡がある。氷っている所氷っていない所有り、歩きにくい。北コース別れる分岐あたりは日向の為雪が無い。南口登山口、鳥居を通り本格に登りとなる。雪も多く、ク



勢至平



鳥川橋

ている。旧道と馬車道との分岐で昼食、早い登山者は下山して来る。十二時十分今日の山頂も一時として、途中薬師岳の雪庇が綺麗に見える。一時、八ノ字頭へ行く。下山者の話では稜線は風はあるが良い見晴らしだったとの事、勢至平まで足を延ばす事に。箕輪山、鉄山を目の前に見、レンジツツジ群生地まで入る。ツボ足なので気を付けて歩く。勢至平は雪が多く遮る物が無く山頂矢筈森鉄山箕輪山と一目に見る事が出来る。雪の多い今の時期でなければ見る事の出来ない風景である。一時四十分五分下山、旧道は段差ないが急な下り、アイゼンは付けているが気を付けて下る。二時五十分駐車場へ下山する。奥岳湯入口当たりは雪解けでシャーベット、登山グツが長グツでないと歩けない様だ。



薬師岳の雪庇



勢至平、レンジツツジ群生地



鳥川橋

◆班に取材担当者置くようにしよう。
◆実は青木さんから今年の積雪についてレポート頂いた、先月号の「のっぺりした」についての意見だ。それ掲載すると六頁になるが、紙面構成の都合上来月掲載とさせて頂きます。
◆山登りが他のスポーツと違うところは、報告を作らねばならないと言う事だ。登った山、参加者、歩いたコース、道の状況、天候。そして山でどのような事をしたか、次に来る人のために、伝えたい事を残し、広めなければならぬのだ。それには、話すだけではダメだ、書かねばならない。最近、明治時代始めの「岳温泉(深堀温泉)」の賑わいの記録見付けた。当時の二本松製糸場日記に記載があったのだ(市史7、一二八頁)。書かれていたから残ったのだ。皆さん、会報に載せましょう。
◆今日三日は寒い。午前中から気温が下がり、雨も降っている。服装は昨日までの薄着なので今半天着て会報作業中。明日水曜日は暑くなるらしい。実は最近山行から離れてしまっている。別件での事務仕事多いのだ。その状態は今後も続く、一寸心配。
◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いので、すが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記

四三七号

◆福島民報「みんなの広場」本多さん投稿

◆四月十八日「膨大な国債残高、将来が心配」。

◆五月二十五日「奥が深いグランドゴルフ」。

◆湯川溪谷登山道整備や山